

きたかみちゅうぶ こうぎょうようすいどう
北上中部工業用水道
 (第二浄水場)



岩手中部(金ヶ崎)工業団地等への工業用水の供給

第二浄水場(旧第二北上中部工業用水道)は、岩手中部(金ヶ崎)工業団地等の立地企業に工業用水を供給するため、52,000m³/日を北上川水系夏油川に建設された入畑ダムに水源を求め、浄水処理した上で29,760m³/日の工業用水を供給するもので、昭和56年1月に一部給水を開始しました。

また、半導体製造企業の進出に伴い、濁度等の低いより良質な処理水を供給するため、急速ろ過施設を建設し、昭和60年1月に給水開始しました。

なお、平成24年5月に未売水の一部35,000m³/日を農業用水として水源を転用したこと等により、現在の給水能力は17,205m³/日となっています。



浄水場

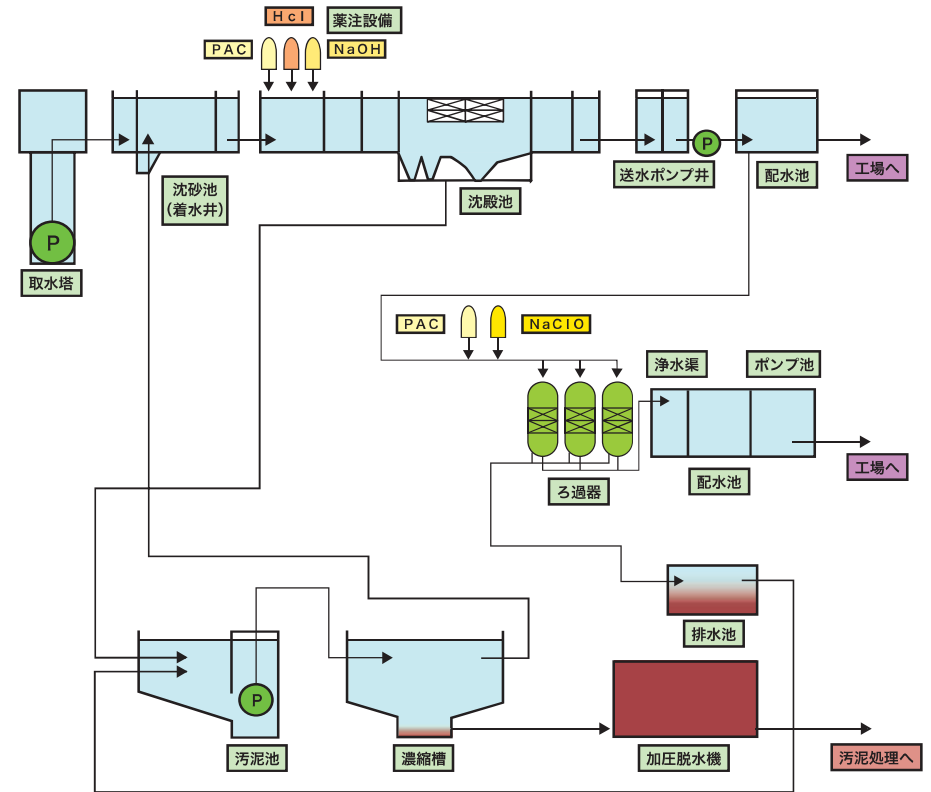


ろ過施設

	第二浄水場 (旧第二工水)	金ヶ崎ろ過施設
水源	北上川表流水 (入畑ダム) (早池峠ダム)	
取水地点	北上市相去町 字谷木	
浄水場所在地	北上市相去町 字谷木	金ヶ崎町大字 西根字森山
浄水場敷地面積	10,600m ²	5,083m ²
取水量	18,500m ³ /日	
給水量	17,205m ³ /日	内13,000m ³ /日
建設期間	昭和52～平成15年度	一期 昭和58～ 59年度 二期 平成2～ 4年度
建設費	8,771,143千円	一期 615,500千円 二期 998,575千円
給水対象区域	岩手中部(金ヶ崎) 工業団地及び北上 南部工業団地(計画)	岩手中部(金ヶ崎) 工業団地
給水開始	昭和56年1月1日 一部給水開始	一期 昭和60年 1月1日 二期 平成4年 10月1日
給水能力	17,205m ³ /日	

解説

工業用水道のしくみ



1. 河川やダムなどから工業用水の元となる水(原水)を取水します。
2. 原水は沈砂池を経由して沈殿池に運ばれます。
3. 沈殿池では、原水に薬品(※)を注入し、かくはん装置でかくはんします。やがて水と水に含まれている汚泥等に分離します。
4. これによりできた水が工業用水として配水池を経由して工場に運ばれるほか、さらにより不純物を含まない工業用水を作るために、ろ過器に選ばれます。
5. また、3の過程により発生した汚泥等は、汚泥池を経由して濃縮槽に運ばれ、そこで、さらに水と汚泥等に分離され、水は原水として沈殿池へ運ばれ再利用され、汚泥等は加圧脱水機に運ばれます。
6. ろ過器では、薬品が注入され、さらにより不純物を含まない工業用水(ろ過水)が作られ、配水池を経由して工場に運ばれます。
7. 4と5により加圧脱水機に運ばれた汚泥等は、水分を抜いたうえで、産業廃棄物として処理しています。

※薬品名

- PAC: ポリ塩化アルミニウム(凝集剤)
- HCl: 塩酸(pH調整剤)
- NaOH: 苛性ソーダ(pH調整剤)
- NaClO: 次亜塩素酸ナトリウム(除鉄剤)